

(教養セミナー)

教 養 セ ミ ナ ー I

P-01-23-S

◇履修方法

教養セミナーIは、I期に1テーマを選択し履修する。

I 授業の目的

少人数による教育を通じて、教員および参加者相互でテーマをめぐって discussion しながら双方向的学習をすることにより、コミュニケーション能力、自主的学習態度を身につける。

II 到達目標

テーマごとに提示する。

III 教育内容

テーマ及び担当者：次頁の表のとおり

IV 学習及び教育方法

セミナー：自主的かつ双方向的に学ぶ。

V 評価の方法

出席を重視し、参加態度、理解度、発表内容、発表能力等を総合的に評価する。
詳細は教員により異なる。

VI 推薦する参考書

テーマごとに提示する。

I 期開講教養セミナー 一覧

テーマ	担 当 教 員	開講予定時限
組織的不祥事事例の分析 医療倫理事例研究入門 英語文献講読 “大学生の学び方”と教育論 プレゼンテーション技術特訓 生命科学の基礎技術	神谷 隆一 竹山 重光 廣田 麻子 石井 拓 武田 好史 森田 強	月曜・4限目

配当学年：令和6年度入学生（1年次生）

組織的不祥事事例の分析（神谷 隆一）

企業をはじめとする組織における不祥事は後を絶たない。本セミナーでは、組織的不祥事事例をいくつか取り上げ、各々の事件の事実関係、発生原因、再発防止策、法的責任を検討し、組織的不祥事はなぜ起こるのか、再発防止策として何が有効なのかについて考察することを試みる。セミナーは演習形式で行い、レポート課題を課す。（評価の方法：授業での発表 52%、レポート課題 48%）。毎回、教科書の指定範囲及び配布資料を事前に十分読み込んで授業に参加することを求める。これらの学習により、組織的不祥事の原因分析・再発防止策について考察する力を身に着けることを目標とする。

テキストは、樋口晴彦『なぜ、企業は不祥事を繰り返すのか 有名事件 13 の原因メカニズムに迫る』（日刊工業新聞社）を用い（開講時の最新版を使用する）、参考資料を適宜配布する。

オフィスアワー 火曜日 12:30～13:30

【連絡方法】 m-igaku★wakayama-med.ac.jp（三葛学生課まで）

【実施場所】 医学部三葛教育棟

【備考】 面談場所を用意しますので、事前に学生課に連絡願います

医療倫理事例研究入門（竹山 重光）

人間のからだという多様な連関を有するものを介して、道徳的倫理的な諸問題が湧出してくる場、その一つが医学医療である（もう一つは性の場面であろう）。ビデオやDVDなど視聴覚教材を用いてそのような場の具体的な事例を検討する。参加者それぞれに対して、みずからの論点を意識し、言語化し、丁寧に表明することが、そして、他の参加者からの表明に傾聴し、受け止めることが求められる。積極的な参加が不可欠である。

【特記】 今年度は諸般の事情によりこれまでと同様の様態では授業を実施できないと予測される。実際にそうなった場合、初回の授業で進め方などを説明し指示など行なう。上級生の与太話を鵜呑みせぬように。

英語文献講読（廣田 麻子）

大学では、分野的にも分量的にも時代的にも、多様な英語文献を読むことが求められる。本セミナーでは、毎週集まって同じテキストを読み合わせ、意見を出し合い、討論する。最初はゆっくりと丁寧に読み始め、徐々にスピードを上げていきたい。テキストは、J.K. Rowling, *Harry Potter and the Goblet of Fire - Slytherin Edition* (Bloomsbury, 2020) ISBN 978-1 5266 1034 8 を用いる。ページ・行数指定の統一のため、受講生はこの同じテキストを持参してください。

オフィスアワー 水曜日 16:00～17:00

【連絡方法】 hirota★wakayama-med.ac.jp

“大学生の学び方”と教育論（石井 拓）

「大学での学びは高校までとは質的に異なるものであり、大学生はまず大学での学び方を身につける必要がある」といった主旨のことがよく言われている。また、この考えに基づいて、大学生が身につけるべき学び方の具体的な内容について解説した教材も多く公開されている。それにとどまらず、世間では「大学生は～を学ぶべきである（逆に、～は必要ない）」といった論争はたびたび起こる。このセミナーでは、それらの「大学生の学び方」論の内容を知り、比較検討することを通して、世間から期待されている大学生の学び方を身につける。また、そのような論を、どのような人が、どのような根拠に基づいて述べているかなどを詳しく検討することにより、「大学生の学び方」論などの教育論とはどのようなものであるかについて洞察を得る。履修者は「大学生の学び方」について書かれた書籍を少なくとも1冊は購入して読み通し、その内容を他の学生に紹介することが求められる。また、最終的には“大学生の学び方”について学んだ内容や、それについての自分の考えをレポートにまとめて提出することが求められる。

オフィスアワー 月曜日 16:30～17:30

【連絡方法】 tishii★wakayama-med.ac.jp

【実施場所】 医学部三葛教育棟3階心理学教員室

プレゼンテーション技術特訓 (武田 好史)

このセミナーでは、人に何かを説明するための準備をする、あるいは他の人の講演を批判的に聞くという、おそらくこれまで未経験の作業を実際に体験することにより、プレゼンテーション技術およびコミュニケーション技術の向上を目指してもらう。

具体的には、受講者の中から順に毎回 1, 2 名が講師役となり、他の受講者に向けて自らが定めたテーマの講演を個々に行ってもらう。その際、講師役以外の受講者には“講師”の説明のわかりにくいところや適切でないところなどを指摘してってもらう。

オフィスアワー 月曜日 16:30~17:30

【連絡方法】 三葛学生課

【備 考】 漠然とした質問には答えられないので事前に内容を整理しておくこと。

生命科学の基礎技術 (森田 強)

近年における生命科学分野の進歩は目覚ましく、少し前には不可能だと思われていたようなことが次々と実現している。このような進歩は技術的な革新に支えられており、例えば 90 年代には国際グループで何年もの月日を費やして決定していたヒトゲノムの全塩基配列も、今や個人で数週間あれば読み取ることが可能となった。本セミナーでは、現在の生命科学技術の礎となっている PCR や蛍光タンパク質などの基礎技術に対する理解をグループ学習により深めるとともに、実際に研究分野においてどのように用いられているのかを学ぶ。

オフィスアワー 月~金曜日 9:00~17:00

【連絡方法】 tsuyo★wakayama-med. ac. jp (事前連絡不要)

【実施場所】 医学部三葛教育棟 3 階 生物学教員室

Table with 7 columns: 1 基盤的資質, 2 医師としての基本的資質, 3 コミュニケーション能力, 4 医学的知識, 5 医学の実践, 6 医学的(科学的)探究, 7 社会貢献. Rows include faculty names like (神谷), (竹山), (廣田), (石井), (武田), (森田) and a '卒業時コンピテンシ' row.

講義日程表(教養セミナーⅠ 組織的不祥事事例の分析)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	ガイダンス	法学教室	神谷
2	R6.4.22	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
3	R6.5.13	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
4	R6.5.20	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
5	R6.6.3	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
6	R6.6.5	(水)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
7	R6.6.5	(水)	5	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
8	R6.6.10	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
9	R6.6.13	(木)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
10	R6.6.13	(木)	5	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
11	R6.6.17	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
12	R6.7.1	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
13	R6.7.8	(月)	4	組織的不祥事事例の分析	法学教室	神谷
14	R6.7.22	(月)	4	授業のまとめ	法学教室	神谷

講義日程表(教養セミナーⅠ 医療倫理事例研究入門)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
2	R6.4.22	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
3	R6.5.13	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
4	R6.5.20	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
5	R6.6.3	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
6	R6.6.5	(水)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
7	R6.6.5	(水)	5	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
8	R6.6.10	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
9	R6.6.13	(木)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
10	R6.6.13	(木)	5	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
11	R6.6.17	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
12	R6.7.1	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
13	R6.7.8	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山
14	R6.7.22	(月)	4	教材視聴とディスカッションなど	哲学・倫理学	竹山

講義日程表(教養セミナーⅠ 英語文献購読)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	Introduction	英語	廣田
2	R6.4.22	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
3	R6.5.13	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
4	R6.5.20	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
5	R6.6.3	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
6	R6.6.5	(水)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
7	R6.6.5	(水)	5	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
8	R6.6.10	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
9	R6.6.13	(木)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
10	R6.6.13	(木)	5	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
11	R6.6.17	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
12	R6.7.1	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
13	R6.7.8	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
14	R6.7.22	(月)	4	Reading, Listening and Presentation	英語	廣田
15	R6.4.15	(月)	4	Feedback	英語	廣田

講義日程表(教養セミナーⅠ “大学生の学び方”と教育論)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	ガイダンス、資料の選定	心理学	石井
2	R6.4.22	(月)	4	資料の検討	心理学	石井
3	R6.5.13	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
4	R6.5.20	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
5	R6.6.3	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
6	R6.6.5	(水)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
7	R6.6.5	(水)	5	資料についての紹介と討論	心理学	石井
8	R6.6.10	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
9	R6.6.13	(木)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
10	R6.6.13	(木)	5	資料についての紹介と討論	心理学	石井
11	R6.6.17	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
12	R6.7.1	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
13	R6.7.8	(月)	4	資料についての紹介と討論	心理学	石井
14	R6.7.22	(月)	4	レポートに向けて	心理学	石井

講義日程表(教養セミナーⅠ プレゼンテーション技術特訓)

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	ガイダンス	数学	武田
2	R6.4.22	(月)	4	講演テーマの決定	数学	武田
3	R6.5.13	(月)	4	講演テーマに関する調査研究	数学	武田
4	R6.5.20	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
5	R6.6.3	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
6	R6.6.5	(水)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
7	R6.6.5	(水)	5	プレゼンテーション実技	数学	武田
8	R6.6.10	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
9	R6.6.13	(木)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
10	R6.6.13	(木)	5	プレゼンテーション実技	数学	武田
11	R6.6.17	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
12	R6.7.1	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
13	R6.7.8	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田
14	R6.7.22	(月)	4	プレゼンテーション実技	数学	武田

講 義 日 程 表 (教養セミナー I 生命科学の基礎技術)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.4.15	(月)	4	ガイダンス、グループ分け、学習テーマの検討	生物学	森田
2	R6.4.22	(月)	4	学習テーマの決定、内容の吟味	生物学	森田
3	R6.5.13	(月)	4	グループ単位でのワーキング1	生物学	森田
4	R6.5.20	(月)	4	グループ単位でのワーキング2	生物学	森田
5	R6.6.3	(月)	4	グループ単位でのワーキング3	生物学	森田
6	R6.6.5	(水)	4	グループ単位でのワーキング4	生物学	森田
7	R6.6.5	(水)	5	学習発表1	生物学	森田
8	R6.6.10	(月)	4	学習発表2	生物学	森田
9	R6.6.13	(木)	4	学習発表3	生物学	森田
10	R6.6.13	(木)	5	学習発表4	生物学	森田
11	R6.6.17	(月)	4	学習発表5	生物学	森田
12	R6.7.1	(月)	4	学習発表6	生物学	森田
13	R6.7.8	(月)	4	発表会の質問内容に対する解答	生物学	森田
14	R6.7.22	(月)	4	発表会の質問内容に対する解答(予備日)	生物学	森田